

正しい意味の方に○を書こう

情けは人のためならず ことわざ

「人に情けをかけて優しくしよう」
「情けをかけることはその人のためにならない」

浮き足立つ 慣用句

「嬉しくて楽しみで落ち着かない」
「不安や恐怖で落ち着かない」

役不足 慣用句

「役や仕事に対して実力不足」
「実力に対して役や仕事が軽い」

煮詰まる 慣用句

「議論が十分になされ、結論寸前の様子」
「議論に行き詰って困る様子」

濡れ手で粟

「やっても意味がないこと」
「苦勞せずに大きな利益を得ること」

檄を飛ばす(げきを飛ばす)

「元気のない人に頑張れと励ます」
「自分の主張や考えを広く人々に知らしめて同意を求めること」

正しい漢字の方に○を書こう

ききいっぱつ

わずかな差で危険を回避する

ごりむちゅう

見通しが立たず困る

じがじさん

自分で自分を褒める

危機一髪

危機一発

五里夢中

五里霧中

自我自賛

自画自賛

しゅしゃせんたく

良いものを取って悪いものを捨てる

ぜったいぜつめい

逃げられない、ぎりぎりの状態

ぜんだいまもん

これまでに聞いたことがない

取捨選択

取拾選択

絶対絶命

絶体絶命

前代未聞

前代未門

むがむちゅう

我を忘れるくらい熱中する

無我夢中

無我無中

語群から意味の合う四字熟語を選んで【】に書こう

【】

自分にしっかりとした考えがなく、他人の言動にすぐ同調すること。

【】

敵同士が、同じ場所に居合わせたり。協力したりすること。

【】

きわめてわずかな期間、非常に短い時間のたとえ。

【】

方針などが絶えず変わって定まらないこと。

【】

物事を大げさに言うこと。

【】

細かい違いがあるが、ほぼ同じであること。

【】

物事の状況や手掛かりがつかめず、判断に迷うこと。

【】

悪い行為や評判は、またたくまに世間に知れ渡ること。

【】

邪念がなく、澄み切って落ち着いた心の形容。

【】

人や物事の到来を待ち焦がれること。早く来てほしいと思う気持ちが非常に強いこと。

【】

ひとつ間違えば、非常に危険なことが起こりそうな状態。

悪事千里 (あくじせんり)	一日千秋 (いちじつせんしゅう)	一朝一夕 (いちちよういっせき)
危機一髪 (ききいっぱつ)	吳越同舟 (ごえつどうしゅう)	五里霧中 (ごりむちゅう)
針小棒大 (しんしょうぼうだい)	大同小異 (だいどうしょうい)	朝令暮改 (ちょうれいぼかい)
付和雷同 (ふわらいどう)	明鏡止水 (めいきょうしずい)	

語群から意味の合う四字熟語を選んで【 】に書こう

【 】
細かい違いがあるが、ほぼ同じであること。

【 】
物事の状況や手掛かりがつかめず、判断に迷うこと。

【 】
悪い行為や評判は、またたくまに世間に知れ渡る事。

【 】
邪念がなく、澄み切って落ち着いた心の形容。

【 】
人や物事の到来を待ち焦がれること。早く来てほしいと思う気持ちが非常に強いこと。

【 】
方針などが絶えず変わって定まらないこと。

- | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|
| 悪事千里 (あくじせんり) | 一日千秋 (いちじつせんしゅう) | 危機一髪 (ききいっぱつ) |
| 五里霧中 (ごりむちゅう) | 針小棒大 (しんしょうぼうだい) | 大同小異 (だいどうしょうい) |
| 朝令暮改 (ちょうれいぼかい) | 明鏡止水 (めいきょうしすい) | |

捕らぬ狸の皮算用

傷口に塩を塗る

ローマは一日にして成らず

虻蜂取らず

のれんに腕押し

雨垂れ石を穿つ

弘法にも筆の誤り

絵にかいた餅

二兎を追う者一兎をも得ず

河童の川流れ

泣きっ面に蜂

転ばぬ先の杖

雀百まで踊り忘れず

ぬかに釘

石橋を叩いて渡る

三つ子の魂百まで

- ・その道に長じた者でも、時には失敗をすることがあるということ
- ・計画や企画だけは立派だが、実行が伴わないこと
- ・どんなに小さな力でも、根気よく続けていればいつか成果が得られるということ
- ・不運が重なること
- ・手応えがないこと
- ・あれもこれもと手を出すとどちらも手に得られないこと
- ・非常に慎重なようす
- ・幼いときに身に着けた習性はいくつになっても直らないこと

正しい意味の方に○を書こう

情けは人のためならず ことわざ

「人に情けをかけて優しくしよう」

「情けをかけることはその人のためにならない」

浮き足立つ 慣用句

「嬉しくて楽しみで落ち着かない」

「不安や恐怖で落ち着かない」

役不足 慣用句

「役や仕事に対して実力不足」

「実力に対して役や仕事が軽い」

煮詰まる 慣用句

「議論が十分になされ、結論寸前の様子」

「議論に行き詰って困る様子」

濡れ手で粟

「やっても意味がないこと」

「苦勞せずに大きな利益を得ること」

檄を飛ばす(げきをとばす)

「元気がない人に頑張れと励ます」

「自分の主張や考えを広く人々に知らしめて同意を求めること」

正しい漢字の方に○を書こう

ききいっぱつ

わずかな差で危険を回避する

危機一髪

危機一発

ごりむちゅう

見通しが立たず困る

五里夢中

五里霧中

じがじさん

自分で自分を褒める

自我自賛

自画自賛

しゅしゃせんたく

良いものを取って悪いものを捨てる

取捨選択

取拾選択

ぜったいぜつめい

逃げられない、ぎりぎりの状態

絶対絶命

絶体絶命

ぜんだいみもん

これまでに聞いたことがない

前代未聞

前代未門

むがむちゅう

我を忘れるくらい熱中する

無我夢中

無我無中

語群から意味の合う四字熟語を選んで【】に書こう

【付和雷同（ふわらいどう）】

自分にしっかりとした考えがなく、他人の言動にすぐ同調すること。

【呉越同舟（ごえつどうしゅう）】

敵同士が、同じ場所に居合わせたり。協力したりすること。

【一朝一夕（いちちよういっせき）】

きわめてわずかな期間、非常に短い時間のたとえ。

【朝令暮改（ちょうれいぼかい）】

方針などが絶えず変わって定まらないこと。

【針小棒大（しんしょうぼうだい）】

物事を大げさに言うこと。

【大同小異（だいどうしょうい）】

細かい違いがあるが、ほぼ同じであること。

【五里霧中（ごりむちゅう）】

物事の状況や手掛かりがつかめず、判断に迷うこと。

【悪事千里（あくじせんり）】

悪い行為や評判は、またたくまに世間に知れ渡ること。

【明鏡止水（めいきょうしすい）】

邪念がなく、澄み切って落ち着いた心の形容。

【一日千秋（いちじつせんしゅう）】

人や物事の到来を待ち焦がれること。早く来てほしいと思う気持ちが非常に強いこと。

【危機一髪（ききいっぱつ）】

ひとつ間違えば、非常に危険なことが起こりそうな状態。

悪事千里（あくじせんり）	一日千秋（いちじつせんしゅう）	一朝一夕（いちちよういっせき）
危機一髪（ききいっぱつ）	呉越同舟（ごえつどうしゅう）	五里霧中（ごりむちゅう）
針小棒大（しんしょうぼうだい）	大同小異（だいどうしょうい）	朝令暮改（ちょうれいぼかい）
付和雷同（ふわらいどう）	明鏡止水（めいきょうしすい）	

同じ意味のものを線で繋ごう

捕らぬ狸の皮算用

傷口に塩を塗る

ローマは一日にして成らず

虻蜂取らず

のれんに腕押し

雨垂れ石を穿つ

弘法にも筆の誤り

絵にかいた餅

二兎を追う者一兎をも得ず

河童の川流れ

泣きっ面に蜂

転ばぬ先の杖

雀百まで踊り忘れず

ぬかに釘

石橋を叩いて渡る

三つ子の魂百まで

- ・ その道に長じた者でも、時には失敗をすることがあるというたとえ。
- ・ 計画や企画だけは立派だが、実行が伴わない
- ・ どんなに小さな力でも、根気よく続けていればいつか成果が得られるということのたとえ。
- ・ 不運が重なること
- ・ 手応えがないこと
- ・ あれもこれもと手を出すとどちらも手に得られないこと
- ・ 非常に慎重なようす
- ・ 幼いときに身に着けた習性はいくつになっても直らないこと